



～バンダイこどもアンケートレポート Vol.18

「お子様が両親に似ているところはどこですか？」

親に似てほしくないところについて目がいってしまう？

この調査は雑誌誌上で当社が行っている、アンケート付きプレゼント企画への回答をまとめたものです。保護者を対象にしたこどもに関する設問で、月1回の調査を行っています。質問内容は玩具に限定することなく、広い視野からこどもたちの生活に密着した生の声をまとめ、現代のこどもたちの実態をバンダイ流に解きあかしていこうと考えています。

【調査概要】

調査方法：雑誌広告でのアンケート付プレゼント企画によりハガキで募集

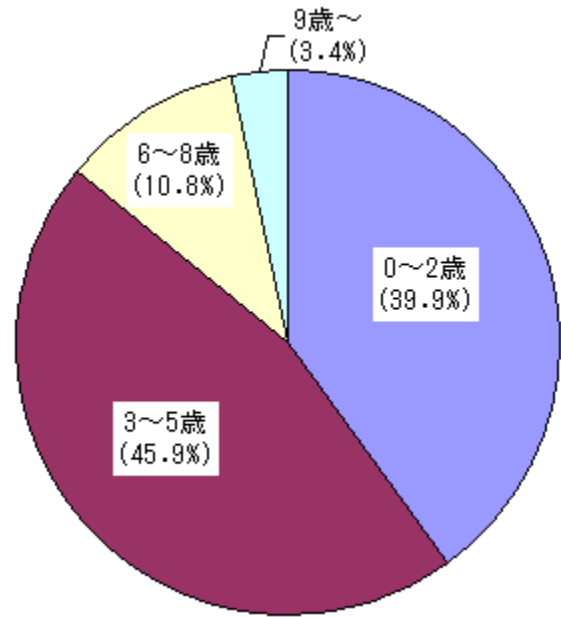
実施時期：1996年9月

質問内容：お子様が両親に似ているところはどこですか？

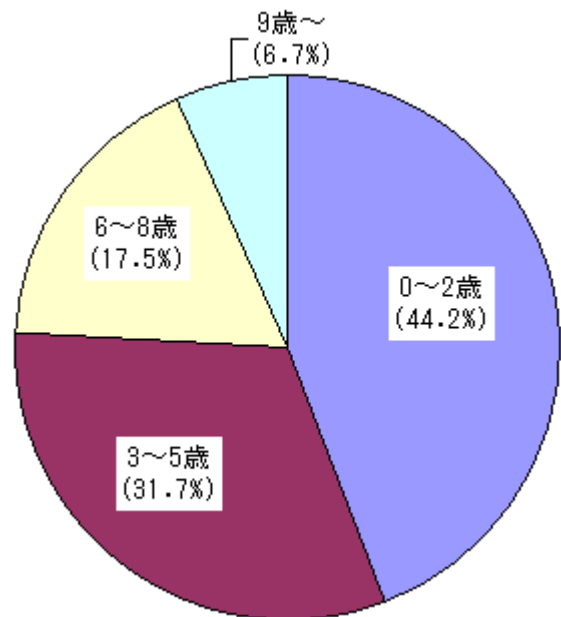
有効回答数：268人

男女総計 268人

★男 児★		
年齢内訳	0～2歳	59人
	3～5歳	68人
	6～8歳	16人
	9歳～	5人
	計	148人



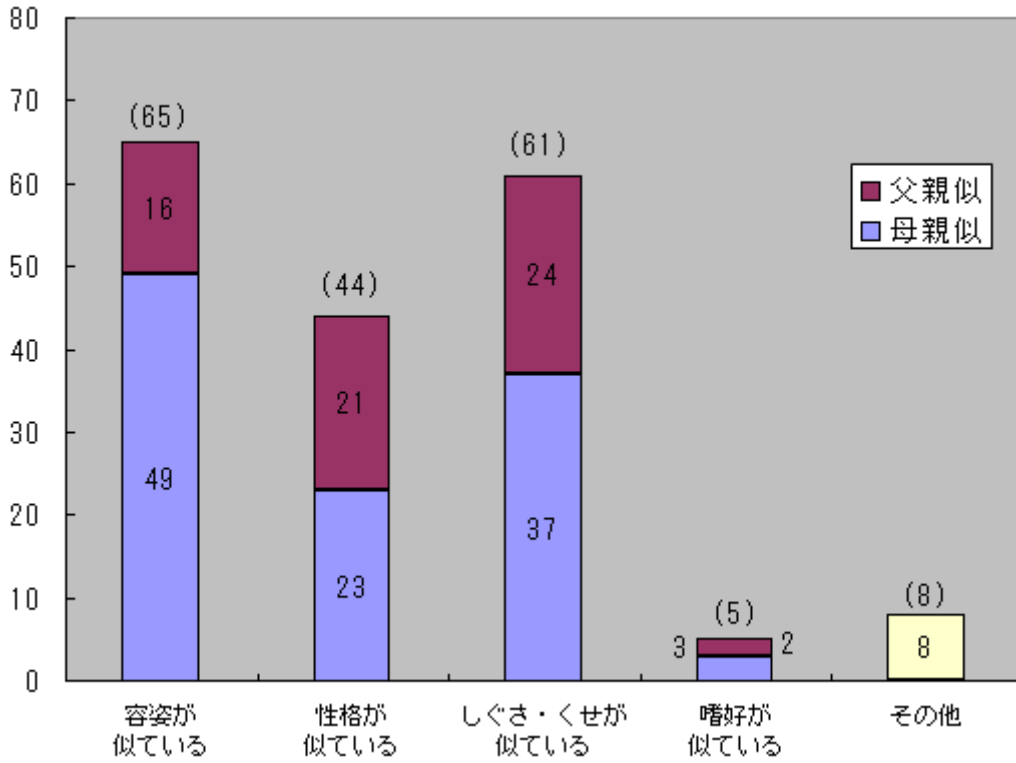
★女 児★		
年齢内訳	0～2歳	53人
	3～5歳	38人
	6～8歳	21人
	9歳～	8人
	計	120人



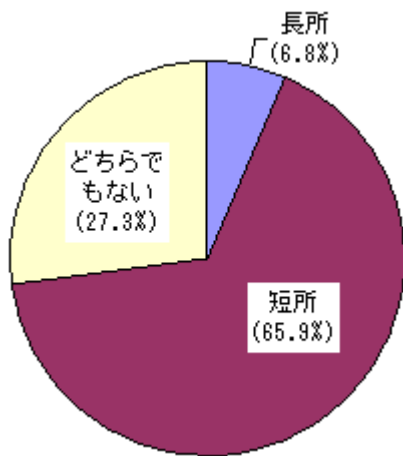
男女総合結果

★男児

(回答件数：148人 183件)

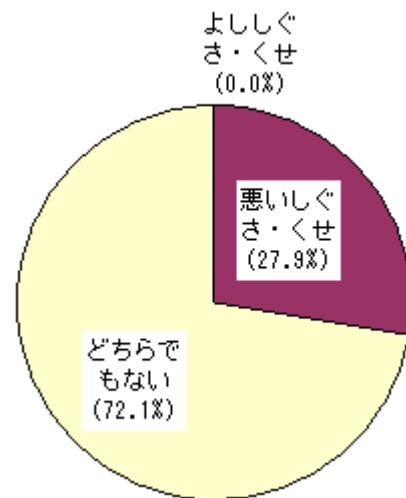


★性格が似ている (44件)



※長所・・・一生懸命、ねばり強い 等
 短所・・・短気、がんこ、わがまま 等
 どちらでもない・・・世話好き、のんびり屋 等

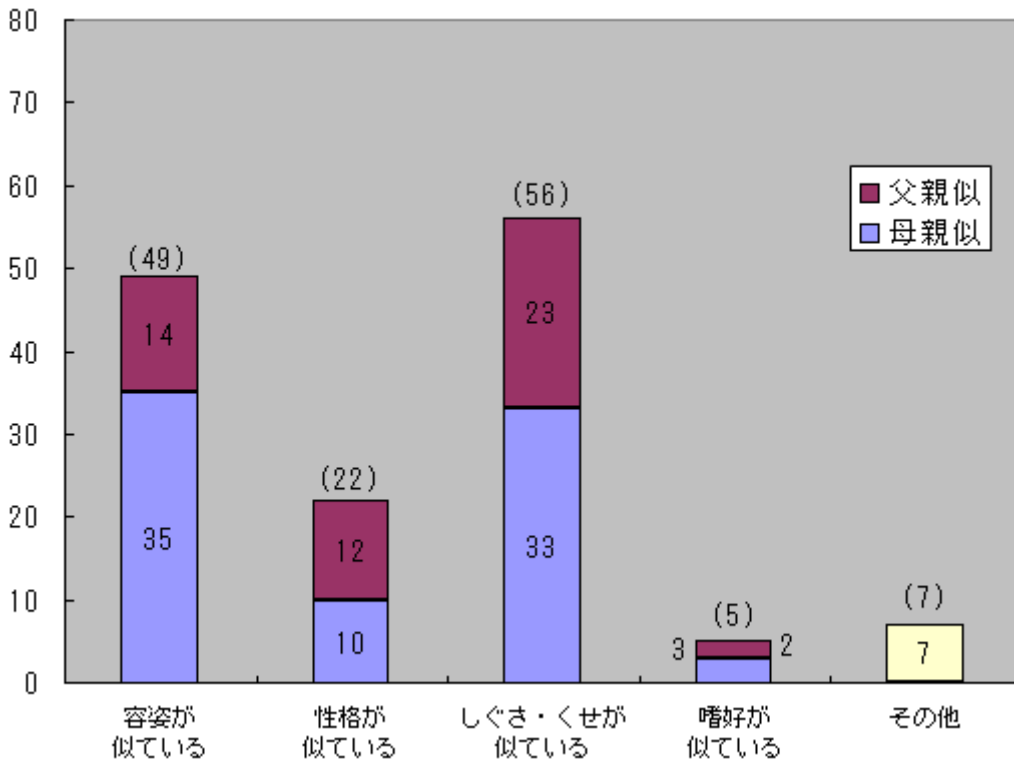
★しぐさ・くせが似ている (61件)



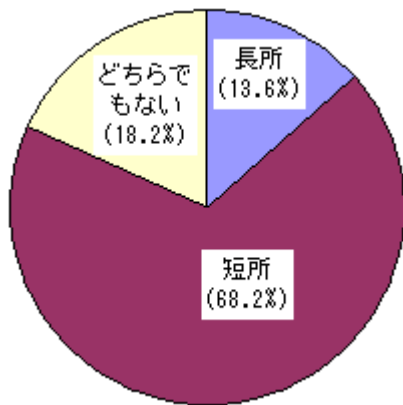
※悪いしぐさ・・・鼻をほじる 等
 どちらでもない・・・寝相、しゃべり方 等

☆女兒

(回答件数：120人 139件)

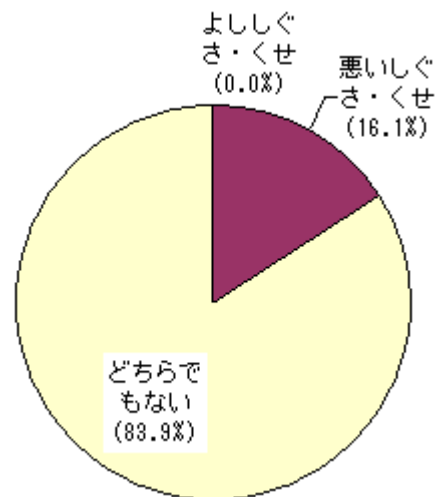


★性格が似ている (22件)



※長所・・・一生懸命、ねばり強い 等
 短所・・・短気、がんこ、わがまま 等
 どちらでもない・・・世話好き、のんびり屋 等

★しぐさ・くせが似ている (56件)



※悪いしぐさ・・・鼻をほじる 等
 どちらでもない・・・寝相、しゃべり方 等

<アンケート結果より>

似ている項目や父親母親のどちらに似ているかということについては男女差や年齢差は特に見あたらなかったため、今回は親はこどものどこを見ているのかということに注目したいと思う。

★親はどうしてもこどもの短所に目がいく

性格が似ているという回答の内訳を見ると短所が似ていると回答したのが男女とも全体の70%近くにのぼっている。一方長所が似ているという回答は女兒が10%強、男児は10%にも満たない結果となった。しぐさ・くせが似ているという回答の内訳を見ても、やはりこどもがマネしてもいいようなしぐさ・くせが似ているという回答は少なかった。

本来こどもには長所短所両方があるはずだが、自分たちに似て欲しくない所がどうしても目についてしまうようだ。いい意味ではなく悪い意味で「子は親の鏡」という言葉を実感している様子がかがえた。また、人前で自分のこどもをほめることが恥ずかしいという日本人の国民性も影響しているのかもしれない。

★家族の寝姿を見守る母親

しぐさ・くせが似ているという回答の中で一番多かったのは、寝相や寝姿に関するもので、男女とも全体の30%以上となった。回答者が圧倒的に母親のものであることを考えると、普段いかに母親が家族の寝姿を見ている、あるいは注意していることがうかがえる。母親は家族の中で一番最後に寝ている、もしくは夜中に起きてこどもや父親の布団をかけなおしてあげる・・・というように気を配っていることが推察される。

●ユニークな回答例

- ・若いお姉ちゃんが好きなのが父親似
- ・扇風機のスイッチを足で入れるのが母親似
- ・おならが臭いのが父親似
- ・怒られると笑ってごまかすのが母親似
- ・食後お腹をさするしぐさが父親似
- ・鏡を見るしぐさが母親似

※ このアンケートレポートに関して「子ども調査研究所・渡部 尚美」さんから以下のコメントをいただいております。

遺伝子は容姿だけでなく、親のちょっとしたしぐさや、くせなど誰も教えていない（教えようもない一寝相が親子うりふたつ、おならのにおいが同じ等）ことまでも伝えているのです。なにも、そんなことまで遺伝子が伝えなくても、と多くの親たちはうれしい半分、恥ずかしい半分で、子どもが自らの分身であることを実感します。

また、子どもたちは自分の周囲の人をモデルにして、その行動などを真似しながら成長します。その最初のモデルが両親なのです。叱られると笑ってごまかす、鏡をみるしぐさなど、どのように行動したらうまく生きられるのか、子どもたちは細かく観察しています。つまり、先天的、後天的な影響を親から受けるので、容姿や行動が両親に似るのは当然のことといえます。

そして、友だちや先生、近所の人など、子どもが接する社会が拡大するにつれて、モデルにする対象が多様化し、その子の独自の性格や行動傾向が形づくられていきます。つまり、両親から受け継いだものを核に、社会との関わりによって、子どもたちは自己を形成し、自分の人生を歩きだすのです。